夕刊 九月二十七日發行

秋窓談義 (三)

小林生

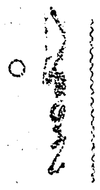
又人間は生れつき趣味といふものがあるので、趣味を滿足させるといふことは人間生活に於ける一つの要件である。何でも生きて居さへすれば事足りるといふものではない。殊に日本國民はむかしから趣味を重んじて來たもので、たとへば裏長屋に住んで居る者でも一日働いての歸りがけには小さい草花の鉢一つでも買つて歸つて、それに毎朝水を注いで花の咲くのを樂んでゐる。田舍の貧しい農夫でも十五夜には薄を瓶にさし團子を拵へて月に供へる。斯ういふことをする時には日常生活に於ける利害損得の關係を全く忘れて居る。これが苦しい働きをするのに堪へて行く力を發ふ效果をもつて居るのである如何に質素な生活をしなければならぬといつても、一切の趣味といふものを抑壓してしまつて、實際の役に立たぬことは何でも止めてしまへといふやうな事を命令しても、それが勵行の出來るものではない。

要するに心の持ち方が根本なので、慈悲の念が篤ければ何の取締りや命令を受けないでも贅澤な生活の出來るものではないのである。慈悲といふ念と報恩の念とが畢竟一に歸するものであるといふことは前に說いた通りであるが先づ以て吾等は自然の大恩といふものに對して感謝しなければならぬのである。前にも一寸說いたことがあると思ふが西洋では『自然を征服する』といふことをいふが往々にしてあるけれども、これは甚だ僭越千萬なことといはなければならぬ。吾等は此の天地の間に生れて居る所の凡ての物を利用して吾等の生活を續けて居るので、自然の物に人間の工夫を加へて種々の役に立てゝ居るといふことを忘れてはならぬ。例へば陸を歩いて行つて水にあへば、それより先へ進むことが出來なくなつたのが、船といふものを發明したので、人の交通を妨げた水が却つて人の交通を助けることになつた。之を名づけて『人が水を征服した』といふのであらうが、若し水といふものが無かつたならば船といふものも出來なかつたであらう。吾等は決して水の恩惠を輕んじてはならぬので、水を征服したなどといはずに『水に依つて助けられた』といつて感謝するのが當然のことである。獨り水ばかりではない、自然の有らゆる力が吾等を助けて居るのであるから吾等は之に對して感謝すると共に、此の自然の力を濫用せぬやうに深く自ら愼しまなければならぬ筈である。(完)

秋思篇

渡邊何鳴

○鈴蟲の音を潮騷をこの窓に
○潮騷の絕ゆなき窓ゆ蟲きこゆ
○こほろぎの聲瞑想をさまたげず
○やすらかに鳴くちゝろあり颱風來
○子の寢息ちゝろの聲とやすらかに



○

沈默と謙遜とは女にとつて最上の裝飾である　ユウリピデス

9月28日

△笠置落城(元弘元) △秀吉耳塚の供養を行ふ(慶長二)

新刊紹介

△國民法律顧問九月號 興味津々たる法律問題を通俗に書きこなしたる記事滿載(會費半年分一圓二十錢 年分二圓二十錢) 東京市荒川區尾久町五の一、一八一 國民法律顧問會)

連續講談 異說赤穗浪士 〔18〕

別題『異說赤穗義士』(『赤穗誠忠錄』)

講 川若燕　畫 城木喬

勅使饗應[illegible] 力は[illegible]內匠頭、梶川與惣兵衞に[illegible]羽織の紐めにされて[illegible]かいてゐるところへ醫者の[illegible]和と云ふお醫者が來て內匠頭の小刀を打ち落した。その內に大勢が集まつて來て、內匠頭を手取り足取り一間へ運れ込んでしまふときに土屋相模守の指圖[illegible]の[illegible]が濟んで役附老中土屋相模守、柳澤出羽守が將軍家の御前に[illegible]ると、兩手を突き

『申し上げまする』

『何事であるか』

『恐れ乍ら播州赤穗淺野內匠頭、吉良上野介に對し刃傷に及びましてござゐます』

上野介は少々薄傷を負ひ候も別條これなく兩人共押籠め差し置き候、差當り今日勅答の儀は殿中荒血を以て汚され居り候へば、御延引あらせられ候哉、且つ內匠頭役は如何に仰せつけらるべきや、伺ひ奉りまする』

『何んと申す、內匠頭、上野介に刃傷致せしとな、如何なる遺恨あるかは知らねど、日頃場所柄を辨へざる致し方、相當の處分を致せ。また勅答の儀はお勅使の御都合もあることとなればお問ひ合せ致せし上にて取り計らひ、また內匠頭役は戶田能登守に代り申し付けよ』

『畏まり奉りまする』

早速御奉書を以て戶田能登守に仰せつけられることになつた。

折柄柳原大納言經廉卿、院使淸閑寺中納言秋高卿御登城に相成る。

此の時、高家衆から

『今日淺野內匠頭、吉良上野介に刃傷に及び、殿中血潮を以て汚れ居り候へば、今日の將軍家との御對顏の儀は御延引遊ばされ候哉、或は今日御決行遊ばされ候哉伺ひ奉ります』

と聞いた

『イヤ苦しうない、お開が[illegible]ば今日にも御對面に及ばう[illegible]』

この柳原大納言卿の言葉に

此の一言に依つて僅かにお白書院の飾りつけを殘らず奥の書院に代わり、將軍家は朱の裝束にて勅使をお受けに及ぶ、お勅旨を終つて桂昌院殿從一位の位を受け給ひ、それが濟むと座を改め將軍家が上座公卿衆が下座に代つて御饗應。それが終ると、下城してその日の內に三卿は西下することになつた

從つて淺野內匠頭はその日の內に切腹を命せられたこれが一日でも二日でもお引になれば內匠頭の罪は輕くなり他家に預けられた未五ケ月か六ケ月たつて夫々へ手續きを以て將軍家へ嘆願に及べば、半地位で済んだかも知れない。然るに殿中荒血の汚れがあらうとも苦しうないと柳原大納言が云つたばかりに當日御對面となり、お勅使に對して血を以つて汚れた殿中へお通し申上げたといふところから切腹といふ事になつた。

さて勅使退城の後將軍綱吉公お表へ出御、老中稻葉丹後守、秋元但馬守の二人を召され。

『今日內匠頭が吉良上野介に及傷の始末如何に致すか』

と問ふた、但馬守は、

『恐れ乍ら內匠頭儀兩三日より眼中常ならず、何んとなく逆上を仕り亂心の樣子相見えまする』

『オヽ內匠が亂心とあれば不憫の至り、亂心に相違ないか一通り相尋ねよ』

『ハツ、畏まり奉りまする』

但馬守は日頃から上野介の不埒なことをよく知つてゐるので斯う言つて些かでも罪を輕くさせたいと考へた。稻葉丹後守と秋元但馬守は內匠頭の押籠めになつてゐる蘇鐵の間に來るとグルりはお屏風を取り圍み、お付かまわりにゐる、屏風を取る、內匠頭は兩手を仕へ、上野を討漏らしたる無念骨髓に徹したか拳を握つて齒を喰ひしばり眼中は血走つてゐる。

新刊書籍 月刊雜誌 取次開始
特價圖書販賣店
三英堂 村山書店
平市中央通(驛前通)

高久病院 (電話五三一番)
平市田町
醫學士 高久 忠
新潟醫學士 赤羽 禎
藥劑士 佐竹 繼
內科 小兒科
外科 花柳病科
耳鼻咽喉科
(看護婦至急募集)

開院
外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科
平市南町(平郵便局本局裏通り)
上田外科醫院
院長 上田耕作
電話一二九番

耳鼻科 咽喉科 專門
平市南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
(入院隨意 病室完備)

●簡易金融
小口も歡迎いたします
茨城相互株式會社平出張所(金融業)
綠川喜三郎
事務所 平市才槌小路四二

手付金で我がものになる賣宅地
平第三小學校前約一反五千坪 內五千坪
金より物の時代
安全の土地
一、常陽銀行、七十七銀行、平庶民金庫この間に購入資金融通の途がついて居ります。
一、直に名義書き替えが出來ます。
大小各口の御相談に應ず
申込所
驛前 阿部石炭部 電話三七番
四丁目 和泉屋旅館 電話二一七番
田町 蓮沼龍輔 電話七八七番
五丁目 馬目武之助 電話五五八番

外科一般
內臟外科
肛門病科
皮徽科
泌尿生殖器科(婦人科 性病科) 專門
(入院隨意)
平市字鎌田町
白土醫院
電二七九
看護婦及見習看護婦募集

病室・手術室完備
產科婦人科
醫學博士 五十嵐雄二
(物理療法科併置)
(入院隨時)
平市新川町(電話三六九番)

外科、內臟外科
エツキス光線科
院長 安齊徹
平市田町
入院隨意
安齊醫院
電話四七五番

◎國民擧つて防火塗裝を!
□危險に暴露する木造家屋
□手輕るに出來る防火家屋
□太陽無機コロイド防火塗料の特長
1、太陽無機コロイド塗料は絕大の防火力を有します
2、本品の右に出る防火塗料他にありません
3、粘着力非常に强く木材によく密着します
4、既設家屋に自由に施工が出來ます
5、刷毛にて簡單に施工が出來ます
6、價格が低廉で經濟的です
7、塗面が汚れた時には水洗ひすると直ぐ綺麗になります
8、工業試驗所は本品の防火力を一、二五〇度と御證明下さいました
□大量使用御考慮の方及び團体的御申込みへは實驗の御希望にじます
專賣特許 太陽無機コロイド販賣店
山田文一商店
平市仲町通り
電話二六二番
カタログ進呈

小瀧礦泉の
涼味是非御出で下さい
縣指定旅館
小瀧
電話小名濱一〇三

市内中小工業者が時局下の自己再認識
けふ有限會社設立協議

昨報、市内關係方面に對する縣並に工業組合中央會縣支部主催の有限會社並に小組合設立指導協議會は今二十七日午前九時市市會議事堂に於て主催側の指導者及び中小工業者にして現に工業組合員たると否とを問はず有限會社、工業小組合等の設立希望者代表、其他市役所、商工會、商工更生委員等參集開催、指導者から

一、有限會社に關する指示
一、有限會社と工業小組合の關係
一、工業組合と工業組合との關係

に就て詳細な指示説明あり大にこの方面に對する理解認識を深め時局柄極めて有意義な効果を收め散會した之に因る地方當業者今後の動きが刮目される

有限會社とは？ その實體はこれ

「中小商工業者の新體制」として商工街にすばらしい魅力をもつてクローズアップされた商工省自慢の有限會社は政府の物動計畫から從來のやうに無制限に物資が配給されなくなつた關係で小資本の中小商工業者は自然利潤がうすく休失業、または轉業するものがあるためこれ等資力設備の貧弱な中小商工業者が集團的に事業の維持、または轉換をはかる目的から會社をつくり物資不足による共倒れを防ぐもので統制時代が生んだ一種の企業合同である、これの出資金は一口百圓以上で總出資一萬圓以上とし出資は原則として一回に支拂ふことになつてゐるが、現物出資でも差支へない、人數は五十名以下で組織し責任はその名の通り有限となつてゐる、會社が設立されゝば出資者は社員になり從來の店員や職工は從業員と名前が變るわけだ、普通の會社と同樣に社員總會があつて取締役（支配人）監査役を選任し小規模ながら立派な會社の形態を整へることになる、利潤は出資額に應じ按分されるので今までの店または工場を閉鎖、他の勞働に從業出來るため收入は自然多くなり生活は著しく樂になるとの見透しである、商工省は比較的打撃の多い中小工業者が有限會社を設立した場合約五割の補助をすることになつてゐるが、中小商業者の有限會社には全然補助しないことになつてゐる

模型飛機展 あす平第一校で

我が航空三十年を記念し今年から政府が空の記念日を制定全國民の關心を大空に向けることになつたが平第一小學校では明二十八日初の記念日に當り全校兒童の模型飛行機展を學級別に開催優秀なものに賞狀を贈る

。。。。第四校運動會　平第四小學校、青年學校、女子青年團聯合運動會は今二十七日午前七時半から同小學校庭で行はれたが朝來の運動日和に惠まれ旺盛な健康群の跳躍、參觀の數も多く非常に賑つた

三年前位までに石炭が安くなる
各家庭に天來の福音

平驛前にも出店を有する日本石炭會社の業務開始が愈よ中三日の來月一日に迫り石炭配給一元化の各方面に及ぼす影響如何を注視されてゐる矢先き商工省物價局では此程價格形成中央委員會石炭特別部會の第一回會議を開き日石　買ひ取り及び販賣價格並、卸小賣業者の公定價格を決定、この結果石炭價格は平均して相當値下りとなる模樣となつたとの事であるが　之れより先き市内消息通間には此際低物價政策に即應する三年前への價格還元が豫想され而も近く發表さるべきそれと相距る遠からざるものあるべしと看らるる節あり、この値下りは地元の小口消費者に對するアウトサイダー方面にも必然的に波及し各戸の風呂焚き其他燃料に相當の値下りを來すは今や殆ど既定の事實と見らるるに至つた

材木商寄附

平署管内材木商四百名は同署會議室が不完備なので今回講演用テーブル、卓子三十、椅子百個を寄附した外正面裝飾を行つた

鹿島村葬

鹿島村出身鈴木義廣上等兵の村葬は來る三十日午後一時から同村小學校に於て執行する

。。。。。軍用馬褒賞授與　石城產馬畜產組合では此程行つた軍用保護馬鍛錬競技會の褒賞授與式を二十七日平市國体事務所で執行した

市の振興委員大縮少
三つ一の常會員に變る
新体制の發足點決定

昨報、市當局の熱心な指導誘掖により各方面を通じ最も好成績裡に着々進行しつつある國民組織の最下部組織「市常會」及び「隣組」の結成に就て縣では内務省の訓令に基き近く全縣下に機構其他に關する訓令を發するとの事であるが之によると現在各市町村にある市町村振興委員會を其の儘常會と改稱し、從來のメムバーたる市町村吏員、同上議員、學校職員、產業團體、其他の團體代表及び部落常會長、官公吏、學識經驗者のうちから市町村吏員及び官公吏を除外し、廿五名乃至三十名に止むる方針とあり、よつて生ずる平市への影響如何を見ると

各市會議員及び三十三行政區長の外前記方面を網羅したる振興委員現在約九十名が約三分の一程度に減少することゝなり結局市内の常會員は市吏員、官公吏をはじめ其他全面的に縮少され、適々現在の行政區數と同程度に落ちつくものと觀られてゐる

隣組一部變更か
單位とし難い場合もある
市の家庭防空群

市内に於ける昨今創始時代の各隣組は差當り家庭防空群の區域を標準として諸般の準備を進めてゐるが縣では大体十戸位を一團とする方針であり過般内務省から發表された『部落會町内會等整備要綱』中にも

隣保班（一）部落會及び町内會の下に十戸内外の戸數より成る隣保班（名稱隨意）を置くこと

（二）隣保班の組織に當りては五人組、十人組等の舊慣中存置すべきものはなるべくこれを採り入れること

とあり何れにしても十戸以内を目指してゐるらしいので僅かの差は兎に角現在の防空群の範圍がそれ以上甚だしく多數に上る方面では分割獨立その他隣組として所屬に相當の改組が行はるべき場合が想像される

鈴木上等兵陣歿

市内仲間町出身鈴木三郎上等兵は二十六日戰病死した旨市役所に入電あつた

萬次郎さん（五六）の三男で母親ケイさんは今春死亡一家をあげて東京市大森區堤方町に轉任し故上等兵は出征前まで大森の鐵工場に勤めてゐた眞面目な青年だつたと

天津から

四日間の北京滯在は實に愉快、北京市長並に吳泰勳等知名の士より公式招待會の末席を汚し或は仲秋明月節専心行等迄觀光出來申候。

用務も了し、昨十九日天津に參り候、今は事變の跡形もなき北支の產業一手に把握するが如く戰役内地人も五萬を越ゆる狀態とか、その發展振り誠に心強く感じ候、これより愛時石山博士を訪ね今夜十時發濟南に向ふ豫定に御座候

二十日　野崎喜生

陣中を聴く
(851)

部隊が近くなつて幼な友達に會へた
市内鯨岡出身　櫻井清一君（通信）

拜啓、初秋の候と相成り朝夕は大分涼しくなりました。暫らく御無音に打ち過ぎ誠に失禮の段御容赦下さい。貴家御一同樣には益々御壯健の由無事御過しの事と遙か陣中より陰乍ら推察致し居ります。降て小生もお蔭樣にて無事最前線に於て活躍致し居りますから乍他事御放念下さい。

當地も日中は非常に暑くなりますが大分涼しくなります。時々雷雨が來て降り大分涼しくなることもあります。

故郷も暑い〳〵夏が過ぎて今は秋となり稻も穗が出て黄色になり黄金の波を搖れる頃と思ひます。幸ひ今年も稻作は良き事の由誠に喜びの事と思ひ居ります。

次で本日は×作戰以來にて勇夫さんと七ケ月振りにて面會致しました。○町に來て部隊が勇夫さんの居る部隊と近くなり小生は手紙を出しまして場所を知らせました處が本日勇夫さんには外出する事が出來て面會に來て呉れました。

小生らも此處へ來たばかりで出る事が出來ず唯懷しさの餘り嬉し涙が目に浮びました。

勇夫さんも戰友と一緒の外出にて長く居る事が出來ず一時間程話し慰問袋の菓子を食べ乍ら懷しき故郷の話を語り合ひました。

至極元氣で活躍致し居ります。御安心下さい、小生も勤務のため長くお會ひすること出來ず殘念でした、併し今は近い處に居ますから今後共に度々お會ひすることも出來ると思ひます。

この町は種々の日用品も食料品も多く賣つて居て今分では何一つ不自由ありません

前線に活動
鈴木武君

前略御免下され度候、其後御無沙汰とは云ひ乍ら御無音に打ち過ぎ申譯無之候。

貴家御一同樣には御壯健と思ひ居り候。降つて小生儀御蔭樣を以て至極元氣にて第一線にて勤務致し居り候間他事乍ら御休め下され度戰爭にて御伺ひ旁々無事お知らせ迄。

回春園改築地鎭祭
ベッド增設其他全面的に
十六萬圓で新陣容整備

宿命に虐まれた哀れな病者にとつて最後の安息所たる豐間村縣立回春園は、近來國民保健の強化擴大と共に建物設備其他機構の全面的に亘つてその不完全を痛感さる、至り之が改造擴張は縣多年の縣案であり財政多端　折やつと

十四年度七萬二千五百圓
十五年度九萬五千五百圓
合計十六萬二千圓　豫算を計上し建物を改築して現在のベット六十を百個に增大する等の計劃を樹立し地方の厚生施設に一新生面を劃する日を待たれてゐたが、愈よ明後二十九日午前十時から改築敷地に於て地鎭祭を執行新陣容整備の第一歩に入ることゝなつた

果物 野菜の値段決る

平署管内に於ける來月から明春三月までの果物及び野菜の最高小賣値は今二十七日左の如く決定した。（百匁當り單位錢）

△果物の部
林檎二〇—四〇　梨子一〇—二〇　柿一〇　ブドウ二〇—二五　無花果一個三　ミカン三—二五　ネーブル一四〇　ホンカン四〇　レモン一個二五　バナナ二七　クリ二〇　メロン五〇　西瓜八〇—一六〇

△野菜の部
馬鈴薯十日迄四　十一月以降五　甘藷五　玉ネギ六　胡瓜五　ナス二　南瓜四　大根二　トマト五　蕪三　人參五　牛蒡六　ネギ五　里いも子六　親ニ　タマナ十二月迄三、五　一月以降四、五　葉ショウガ一〇　同古根二〇　枝豆五　レンコン一二　ホーレン草六　結球白菜三　ヘラナ二　根三葉七　切三葉四〇　山芋二〇　大和芋一五　平芋一三　芋ガイモ一〇　油菜三　ラ一三　間引菜二　八頭七　唐芋七

林檢上棟式

市内正月町分讓地内に新築する林產物檢查支所及び荒廢地復舊工事平出張所の上棟式は明後二十九日午後三時より

育英資金貸付決る

本縣に於ける即位禮記念育英資金の今季貸付中者は二十六日の審査會で決定したが貸付額は高等學校、專門學校月額十五圓、大學二十圓で地方關係左の如くである

△一高文科龜山正邦（平）△盛岡高農佐々木清（泉）△東京高師木内佐門（上遠野）△福島高商中島武彥（澤渡）△横濱高工宮内二郎（好間）△東京農大專門部和田福美（平）△東京外語松崎彥（赤井）

お茶殼は軍馬の代用食デス
地方愛婦分會で回收運動

從來無意識に棄てられたお茶殼は物言はぬ戰士として戰野に働く軍馬のよき代用食となるので地方愛婦分會ではこの回收を近く各家庭に呼びかけ第一回分を今月末までに取纏め今後毎週纏纏するので各家庭でも必ず保存乾燥の上この奉公に協力されたいと

。。。。。。。泉愛婦で慰問袋　泉村國婦分會では前線への慰問袋六十個を調製、近く發送する

所感天城齊藤隆夫先生
珠雲　小野務平

吐丹議政逐無功
三十星霜夢幻中
世態崢嶸五月雪
褒梅盈裏領春風

拈華微笑

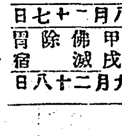
常會員への看板塗り替えにオミットされる振興委員約六十名、秋は寂びしいシーゾンではある

□ が必ずしも胃袋は要らぬお互一個の芋となつて桶中の切瑳琢磨を心掛けよ

□ 石炭の値下りに山の神連の士氣振起上カロリーが頓に騰らう

□ 夙くも防空訓練の前奏、けふ指導部員辭令交付並に講習會

□ 秋晴れ秋晴れ出て山見れば！爽涼秋慢月末の七日

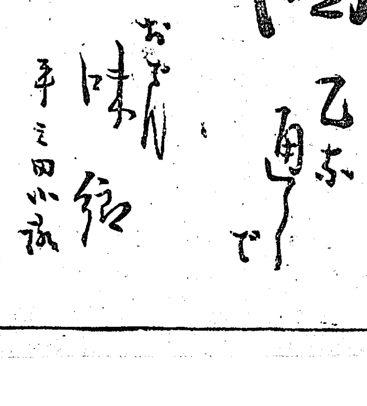


舊八月二十七日　土曜　新九月二十八日　甲戌　佛滅　除　胃宿

▲一白　外交には勝利を得がたき日五分に滿足せよ▲二黑　何事にも平和を願ひ且つ人先に立ぬが安全▲三碧　しづみたる氣分も追々と晴やかに成り行べし▲四綠　内にありて精勵せば幸福なる日となるべし▲五黃　元氣わくが如く無理と思ひし事も成るべし▲六白　氣乘りせぬとも利は薄くとも怠るまじき日▲七赤　生氣はつらつたる日多少の障がいに逢ふも進むべし▲八白　天をのゝしるものには成功なし自から責めよ▲九紫　浮沈に流れず實效を目的に進むべき日なり

潮　二十八日【小名濱測候所觀測】
滿潮　前・後　二、二〇
干潮　前七、三五　後八、一〇

天氣豫報
小名濱測候所發表
今晩　北の風晴時々小雨模樣
明日　同



配達さん募集！
市内居住、尋六乃至高等科生
磐城新聞社

平病院（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）
院主 院長　醫學博士　鈴木定藏
内科・小兒科　院長　鈴木定藏
一般外科・内臟外科・皮膚泌尿器科　副院長　高橋俊幸
レントゲン科・物理的療法科　院長　鈴木定藏
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……毎日午前八時ヨリ午後九時迄、夜間診療ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

附設「洋裁科」生徒募集
要旨　本校ハ時代ノ要求ニ應ジ別ニ洋裁科ヲ設置シ洋裁專門學校出身ノ新進教員ガコレガ指導ニ任ジテ居リマス
入學資格　小學校卒業上ノ學力ガアレバ年齡ノ制限ナクドナタデモ入學出來マス
修業年限　修業期間ハ前期六ケ月　後期六ケ月デス
募集人員　凡三十名
學期始　十月一日（但シ隨時入學モ差支アリマセン）
其他　裁斷學、裁縫等總テ個人教授ヲ旨トシ且ツ各種材料等極力經濟的ニ立案シテアリマス。ミシン其他ノ使用料一切不要
○詳細ハ本校ニ就イテ問合セ下サイ
平市田町
文部大臣認可　藤田女學校
電話三二八番